

【開催概要】

日時：令和5年1月30日（月）15時～16時

場所：沖縄産業支援センター2階 OCVB 応接室

1. 発表事項

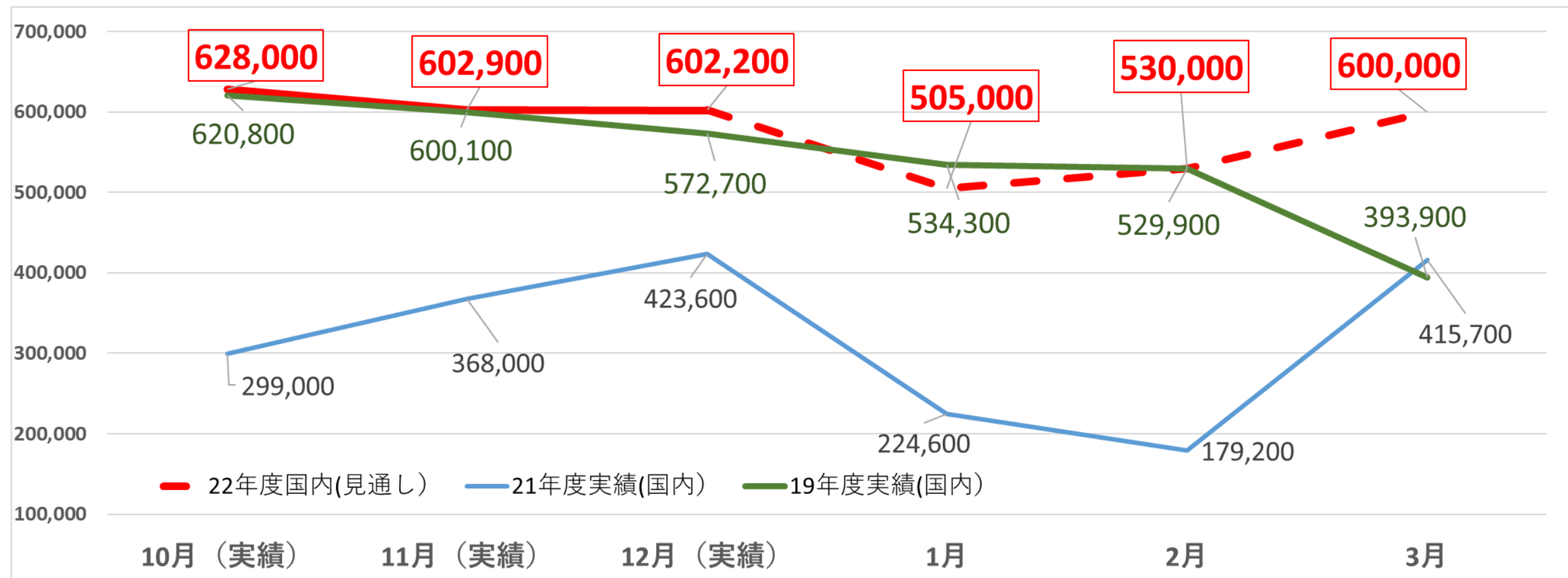
- ① 入域観光客数見通し（企画課）
- ② インバウンド取組強化について（海外プロモーション課）
- ③ 修学旅行の現状と今後の取り組みについて（受入推進課）
- ④ 地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上研修の開催（総務・経理課）

2. 報告事項

- ① 沖縄県 観光トップセールス in 台湾 2023（海外プロモーション課）
- ② インバウンド市場動向セミナー（受入推進課）
- ③ 「観光人材確保・定着支援イベント」参加者募集中（受入推進課）

1. 2022年度1月-3月入域観光客数見通し

	4-9月計	10月 (実績)	11月 (実績)	12月 (実績)	1月	2月	3月	1-3月計	4-3月計
22年度国内(見通し)	2,997,500	628,000	602,900	602,200	505,000	530,000	600,000	1,635,000	6,465,600
22年度海外(見通し)	100	2,700	12,100	32,800	50,000	50,000	55,000	155,000	202,700
対21年度比(国内)	219.7%	210.0%	163.8%	142.2%	224.8%	295.8%	144.3%	199.5%	226.8%
21年度実績(国内)	1,364,200	299,000	368,000	423,600	224,600	179,200	415,700	819,500	2,850,700
対19年度比 (国内)	80.4%	101.2%	100.5%	105.2%	94.5%	100.0%	152.3%	112.1%	92.6%
対19年度比 (国内・海外)	56.0%	73.8%	75.4%	79.8%	69.4%	89.7%	151.4%	104.4%	70.4%
19年度実績(国内)	3,727,100	620,800	600,100	572,700	534,300	529,900	393,900	1,458,100	6,978,800
19年度実績(海外)	1,621,500	230,500	199,100	182,400	193,500	61,000	2,400	256,900	2,490,400
19年度実績(国内・海外)	5,348,600	851,300	799,200	755,100	727,800	590,900	396,300	1,715,000	9,469,200



旅行需要は回復基調が続く。1月は全国旅行支援(おきなわ彩発見NEXT)効果により予約は堅調に積み上がっているが、10月から12月までと比較すると、予約の伸びは緩やかとなっている。2月、3月は全国旅行支援に加え、プロ野球キャンプ、春休み需要が連休周辺を中心に好調に推移しているため、コロナ前と同水準の旅行需要を見込む。国際線(台湾、香港、韓国線)の需要も引き続き回復傾向となっている。

・1月 : 【国内】全国旅行支援効果により、入域観光客数はコロナ前とほぼ同水準の50.5万人(2020年1月対比94.5%)と見込む。10月から12月までと比較すると予約の伸びは緩やかになっている。その中でも東京発沖縄線(離島含む)の需要が比較的高い。ホテル稼働率も引き続き堅調で19年度に近い水準で推移しているが、航空便予約と同様に10月から12月までと比較すると予約の伸びは緩やかになっている。ホテル宿泊単価は北部・離島リゾート地区はコロナ前以上の高水準で推移しているが、那覇市など都市部シティホテルはコロナ前の水準に達していない状況となっている。

【海外】18日よりエバー航空が台北那覇線を運航再開。台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数は5万人(2020年1月対比 25.8%)となる見通し。
運航再開路線:台北那覇線5社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社、エバー航空、中華航空:各社デイリー運航]
香港那覇線2社[香港エクスプレス、香港航空:デイリー運航]
仁川那覇線5社[チェジュ航空、ジンエアー、ティーウェイ航空:各社デイリー運航、大韓航空:週4便(月木金日)、アジアナ航空:週4便(火木金日運航)]

・2月 : 【国内】全国旅行支援効果やプロ野球キャンプ需要により、入域観光客数はコロナ前とほぼ同水準の53万人(2020年2月対比100.0%)と見込む。
【海外】台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数は5万人(※2019年2月対比 20.8%)となる見通し。
運航再開路線:1月と同様
※海外客に関しては2020年2月よりコロナ影響有りのため2019年2月と比較

・3月 : 【国内】全国旅行支援効果や春休み需要により、入域観光客数はコロナ前とほぼ同水準の60万人(※2019年3月対比91.3%)と見込む。
※2020年3月はコロナ影響有りのため2019年3月と比較
【海外】台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数5.5万人(※2019年3月対比24.3%)となる見通し。
運航再開路線:2月と同様
※2020年3月はコロナ影響有りのため2019年3月と比較

(ホテルアンケート、航空会社等からのヒアリングをもとに算出、分析)

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部 企画課 高安・与那国

TEL:098-859-6126 Mail:ocvb_yosoku@ocvb.or.jp

令和5年1月30日（月）

インバウンド取組強化について

1. 国際線運航再開状況

2023年1月現在の本県発着国際線のスケジュールは以下の通りです。

【台湾路線】

航空会社	発着地	出発時刻	到着時刻	備考
タイガーエア台湾	台北→那覇	06:35	08:55	デイリー運航
エバー航空	台北→那覇	06:55	09:15	デイリー運航
チャイナエアライン	台北→那覇	08:15	10:45	デイリー運航
スターラックス航空	台北→那覇	09:30	11:50	デイリー運航
ピーチアビエーション	台北→那覇	15:25	17:55	デイリー運航
タイガーエア台湾	那覇→台北	09:45	10:20	デイリー運航
エバー航空	那覇→台北	10:15	10:55	デイリー運航
チャイナエアライン	那覇→台北	11:55	12:35	デイリー運航
スターラックス航空	那覇→台北	12:50	13:30	デイリー運航
ピーチアビエーション	那覇→台北	13:40	14:20	デイリー運航

【韓国路線】

航空会社	発着地	出発時刻	到着時刻	備考
大韓航空	仁川→那覇	08:05	10:25	デイリー運航
アジアナ航空	仁川→那覇	09:40	11:55	火木金日運航
ジンエアー	仁川→那覇	10:10	12:30	デイリー運航
ティーウェイ航空	仁川→那覇	11:30	13:55	デイリー運航
チェジュ航空	仁川→那覇	12:40	15:05	デイリー運航
大韓航空	那覇→仁川	11:35	13:55	デイリー運航
アジアナ航空	那覇→仁川	13:00	15:20	火木金日運航
ジンエアー	那覇→仁川	13:30	15:50	デイリー運航
ティーウェイ航空	那覇→仁川	14:55	17:20	デイリー運航
チェジュ航空	那覇→仁川	15:55	18:15	デイリー運航

【香港路線】

航空会社	発着地	出発時刻	到着時刻	備考
香港エクスプレス*	香港→那覇	07:35	11:05	デイリー運航
香港航空	香港→那覇	11:05	14:40	デイリー運航
香港エクスプレス*	那覇→香港	12:00	13:55	デイリー運航
香港航空	那覇→香港	16:00	17:50	デイリー運航

*香港エクスプレスは2月に運休日がございます。

最新の運航状況につきましては航空各社 HP 等でご確認ください。

2. 国際線の状況

2023年1月現在の本県発着国際線週間便数は、新型コロナウイルス感染症以前に比べ37.5%まで回復いたしました。また3月までの見通しは以下の通りです。

	1月	2月	3月
台湾	35便/週	35便/週	35便/週
韓国	32便/週	32便/週	32便/週
香港	14便/週	11-14便/週	14便/週
TTL	81便/週	78-81便/週	81便/週
回復率	37.5%	36.1-37.5%	37.5%

*回復率は2019年7月の週間便数を100として算出。

3. 2-3月出展予定旅行博

沖縄県、OCVBはインバウンド誘客促進の一環として、以下の旅行博に出展予定です。

開催国、地域	開催期間	イベント名	概要	種別	その他
タイ	2/3-5	JAPAN EXPO Thailand 2023	バンコクにて日本の文化、教育、グルメ、音楽、アニメ、マンガ、ファッション、伝統文化、旅行・観光など、オールジャパンを楽しむことのできるイベント。	B to B B to C	ブース出展
オーストラリア	2/4-5	Japan Travel Fair	一般消費者向け訪日旅行フェア。	B to C	ブース出展
オーストラリア	2/8	JNTOロードショー	豪州の現地旅行会社等を対象とした訪日旅行商談会。	B to B	参加
韓国	2/16-19	SPOEX2023 (Seoul International Sports & Leisure Industry Show)	韓国最大の展示会で、国内外のスポーツ、レジャー関係者61,000万人以上が来場する国際的な展示会。	B to B B to C	ブース出展
シンガポール	2/24-26	Japan Travel Fair	シンガポール事務所が主催している訪日旅行促進を目的とした一般消費者向けのイベント。来場者は約4万人。	B to C	ブース出展
マレーシア	2/24-26	DRT (Diving Resort Travel Expo)	65か国以上から45万人以上が出席するアジア最大のダイビングEXPO。	B to C	パンプ設置のみ
ドイツ	3/7-9	ITB Berlin (Internationale Tourismus-Börse Berlin)	世界的ツーリズムの見本市。180か国以上の国から10,000人を超えるビジネス参加者と1万社の出展者のマッチングの場となる。	B to B	ブース出展 (ドイツレップ)
英国	3/13	PATA Exchange	PATA(Pacific Asia Travel Association)UK主催の商談会。	B to B	参加
英国	3/13-14	IMM (International Media Marketplace)	メディア向けの旅行商談会。	B to C	参加

【お問い合わせ先】
 (一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
 海外・MICE 事業部 海外プロモーション課
 担当：曾我部、山城、新屋敷
 TEL:098-859-6127 Mail: shien@ocvb.or.jp

令和5年1月30日（月）

修学旅行の現状と今後の取り組みについて

1 現状

OCVB 調査：令和5年1月11日時点予約数・実績

調査対象：沖縄修学旅行取扱旅行社9社回答／15社

(1) 令和4年10月～12月の実施見込み

- 829校、164,603人

(2) 令和5年1月～3月の予約見込み

- 240校、44,976人

(3) 暦年別の入込推移（見込）

令和元年【実績】 県観光政策課統計		令和2年【実績】 県観光政策課統計		令和3年【実績】 県観光政策課統計		令和4年【見込】 OCVB 調査(R5.1.11時点)	
学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
2,398	409,011	395	70,414	381	70,038	1,204 (前月:1,198)	225,488 (前月:223,949)

※前月8社、今月9社回答

(4) 今後の動向等

令和5年4月～6月に修学旅行を予定している一部の中学校において、方面変更の動きが見受けられることから、「おきなわ修学旅行ナビ」Webサイトを通じて沖縄の現状や魅力を発信しつつ、今後、開催予定の催事・イベントなどで沖縄の安全・安心な受入体制の周知を図っていく。

2 県・OCVB等の直近の取り組み

(1) 【概要版】沖縄修学旅行防疫観光ガイドラインの作成・公表

令和4年10月～12月に沖縄修学旅行を実施した学校の中には、新型コロナウイルス感染症関連の体調不良者が一定数発生していましたが、対応ポイントをまとめた資料がなかったことから、概要版【表紙含め全5ページ】を作成・公開しました。また、旅行会社修学旅行担当部署から現場の修学旅行担当者に対して、あらためて対応の周知に関する協力依頼も行っております。

〈おきなわ修学旅行ナビ Web サイト紹介コーナー〉

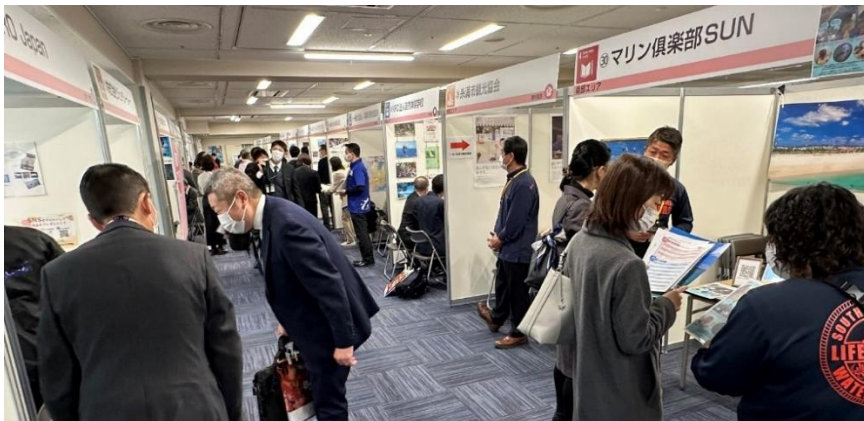
<https://education.okinawastory.jp/topics/18284/>

(2) 「沖縄修学旅行 SDGs EXPO in 東京」の開催について

沖縄県およびOCVBは、12月27日（火）に東京交通会館（有楽町）で『沖縄修学旅行 SDGs EXPO in 東京』を開催しました。

本イベントでは「沖縄で学べる SDGs・探究学習」をコンセプトに主体的・対話的に学べる学習プログラムを提供する事業者との個別相談やモニターツアー体験者2名、大手エアライン2社がプレゼンテーションを行いました。

【来場者数：180名（教員：39名、旅行会社：113名、関係団体：5名、その他23名）】



▲各出展事業者 個別相談ブースの様子(令和4年12月27日)



▲大手エアライン2社のプレゼンテーションの様子①(令和4年12月27日)



▲大手エアライン2社のプレゼンテーションの様子②(令和4年12月27日)

3 県・OCVBの今後の取り組み

(1) 沖縄修学旅行プロモーション

① 修学旅行関係者向け相談会等

- ・1月31日(火)：沖縄修学旅行相談会 in 静岡
- ・2月2日(木)：沖縄修学旅行相談会 in 岡山
- ・2月3日(金)：沖縄教育旅行セミナー説明会（主催：高松空港振興期成会）

② モニターツアー

新しい学習ニーズ(探究学習、SDGs)や県内の課題に対応したプログラムのモニターツアーを修学旅行関係団体、高等学校教員に体験いただく。

<スケジュール>

- ・2月24日(金)～25日(土)

<視察内容等>

平和学習施設2カ所、平和学習フィールドワーク、自然環境学習プログラム
米軍基地展望施設、探究学習プログラム、航空機整備工場、意見交換

(2) 台湾教育旅行関係者招聘事業 (JNTO 主催事業)

JNTO 事業「令和4年度ビジットジャパン台湾訪日教育旅行促進事業」の地方招聘事業の一環として、台湾教育旅行関係者6名に沖縄へお越しいただき、豊富なメニューを提供することで、今後の誘致に繋げていく。

<スケジュール>

- ・2月14日(火)～18日(土)

<視察内容等>

県立高校2校訪問、琉球料理体験、ブセナ海中公園、サンゴ苗作り体験
民泊ホームビジット、テーマパーク、平和祈念公園、空手体験
国際通り散策、意見交換

<視察校情報>

- ・高級中學（日本の高等学校普通科に相当）
新竹市1校、嘉義市1校、朴子市1校、高雄市1校
- ・高級家事商業職業学校（日本の高等学校職業科に相当）
台北市1校、高雄市1校

以上

お問い合わせ先

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 教育旅行担当：恩田

TEL: 098-859-6129 Mail: shuryo@ocvb.or.jp

令和5年1月30日（月）

地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上研修の開催

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、この度、沖縄県内地域の魅力発信強化を目的に、沖縄県内地域観光キャンペーンレディ等を対象とした研修を3日間に渡って実施いたします。

本研修は日本観光振興協会のブロック別広域観光振興事業予算を活用し、研修を通じて地域間の交流促進を図ると同時に、各地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上と各地域がもつ魅力の再発見やその魅力の発信方法、それぞれの活動における目標を見出ししていく機会を創出することで、沖縄観光全体のプロモーション強化に繋げて参ります。

【研修概要】

1. 日時・場所

（1日・2日目）

日時：令和5年2月7日（火）、8日（水）10:00～16:15（9:30受付開始）

場所：沖縄産業支援センター1階大ホール及び展示場（那覇市字小禄1831番地1）

（3日目）

日時：令和5年2月9日（木）9:45～12:30

場所：国頭村

2. 内容（1日・2日目）

①1日目（座学研修）

時間	内容	講師・発表者
10:00-10:30	研修趣旨説明、参加者自己紹介	
10:30-12:30	沖縄の伝統芸能について	上原唯氏（2014年ミス沖縄）
13:30-15:30	マナー研修	佐藤英麻氏（2008年ミス沖縄）
15:30-16:10	振り返り・発表	

②2日目（活動紹介・地域PR、講話）

時間	内容	講師・発表者
10:00-11:00	沖縄観光親善大使ミス沖縄の活動紹介	ミス沖縄3名
11:00-12:00	「サステナブルツーリズムを通じた地域の活性化とこれからの沖縄観光」（仮題）	OCVB会長 下地 芳郎
13:00-15:00	各地域のPR・活動紹介等	各参加者（7地域・1団体×15分）
15:00-15:45	振り返り・発表	
15:45-16:00	研修参加者への修了証授与	

③3日目（バスツアー）

やんばるの森ネイチャーガイドツアー参加（EVバス乗車、国立公園等をウォーキング等）

3. 参加者

7地域・1団体から3日間延べ51名参加（内訳：1日目：19名、2日目：21名、3日目：11名）

【お問い合わせ先】
（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
担当部署：総務部 総務・経理課 担当：志伊良
TEL:098-859-6124 Mail:miss@ocvb.or.jp

令和5年1月30日（月）

沖縄県 観光トップセールス in 台湾 2023 について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、沖縄県が実施した本件について出席いたしました。詳細は以下ご参照ください。

【内容】

実施日時：令和5年1月16日（月）～ 令和5年1月18日（水）

目的：昨年10月以降の台北那覇路線の再開を受け、台湾の行政機関及び運航再開した航空各社を訪問し、感謝の意を示すとともに、今後の交流促進に向けた意見交換を実施し、今後の誘客促進に繋げていく。

出席者：沖縄県副知事 照屋 義実

那覇空港ビルディング株式会社 専務取締役 平敷 達也

沖縄県文化観光スポーツ部長 宮城 嗣吉

OCVB 会長 下地 芳郎

訪問先：

行政機関：中華民国交通部観光局、日本台湾交流協会、台湾観光協会、台北市観光情報局

航空会社：チャイナエアライン、エバー航空、スターラックス航空、タイガーエア台湾



1月16日チャイナエアライン訪問時



1月17日エバー航空訪問時



1月17日タイガーエア台湾訪問時



1月17日スターラックス航空訪問時

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 海外プロモーション課 担当：山城

TEL:098-859-6127 Mail: ocvb_asia@ocvb.or.jp

令和5年1月30日（月）

インバウンド市場動向セミナー

～台湾、香港、韓国の旅行動向から考える新たな観光戦略～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県より「令和4年度観光人材確保促進事業」を受託し、その一環として「インバウンド市場動向セミナー ～台湾、香港、韓国の旅行動向から考える新たな観光戦略～」を開催いたします。

本セミナーでは、動き始めた台湾、香港、韓国を主とした海外市場の最新情報や新たな旅行ニーズ、SNSを用いたアプローチ等を紹介致します。

つきましては、当日の取材についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【日 時】令和5年1月31日（火）13：30～15：00 （※開場・受付 13：00～13：30）

【場 所】ホテルコレクティブ 2階 中宴会場

【内 容】テーマ：東アジア3市場の最新動向

講 師：日本政府観光局（JNTO）

海外プロモーション部 東アジアグループ マネージャー 高橋 歩 氏

海外プロモーション部 東アジアグループ マネージャー代理 松田 博和 氏

【開催方法】ハイブリッド形式（対面もしくはオンラインよりご参加いただけます）

詳細は、OCVB お知らせ欄または別添チラシを参照ください。

<https://www.ocvb.or.jp/topics/4015>

【問合せ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課

担当：天久、藏下

TEL：098-859-6129 E-mail：ikusei@ocvb.or.jp

インバウンド市場動向セミナー

～台湾、韓国、香港の旅行動向から考える新たな観光戦略～

内容

外国人観光客の受け入れが緩和され、円安の影響に加えて、今後も更なるインバウンドの需要回復が見込まれます。本セミナーでは、動き始めた台湾、香港、韓国を主とした海外市場の最新情報や新たな旅行ニーズ、SNSを用いたアプローチ等を紹介します。

対面+オンライン開催

日程

2023年1月31日(火) 13:30～15:00

会場:ホテルコレクティブ ※13:00受付開始

対象

沖縄県内観光事業者・団体

■対面で参加を希望される皆様へ

セミナーの後半に質疑応答や講師・ご参加者様と積極的に情報交換ができますよう、名刺交換のお時間を設ける予定です。当日は、ぜひお名刺をご持参くださいませ。

■オンラインで参加を希望される皆様へ

セミナーの後半に質疑応答のお時間がございます。カメラ・マイク内蔵PC、もしくは外付けのwebカメラやマイクをご用意いただき、可能な限りカメラをオンにさせていただきようお願い致します。



講師プロフィール

日本政府観光局(JNTO)

海外プロモーション部 東アジアグループ マネージャー

高橋 歩氏

2004年入局。ロンドン事務所次長、バンコク事務所次長、ハノイ事務所所長を歴任し、2021年9月より現職。ロンドン駐在時に現地の沖縄県人会と協力して、World Travel Market(WTM)日本ブースにて沖縄イベントを開催。



日本政府観光局(JNTO)

海外プロモーション部 東アジアグループ マネージャー代理

松田 博和氏

2016年入局。2016年～2017年台湾市場担当、2017年～2019年台湾駐在、2019年～2023年に中国市場、香港市場を担当しプロモーション業務に従事。アジア10市場を対象とした「アジアにおける大規模キャンペーン事業」も担当。



お申込みはこちら

<https://forms.office.com/r/ax6B2KKfcc>



お申込締切

1月30日(月)

17:00まで

お問い合わせ

〒901-0152 沖縄県那覇市小祿1831番地1 沖縄産業支援センター2階

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課(藏下、天久) TEL:098-859-6129 E-mail: ikusei@ocvb.or.jp

令和5年1月30日（月）

『観光人材確保・定着支援イベント』参加者募集中！ ～育人講師陣による無料お試し研修も体験できます～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、沖縄県より「令和4年度観光人材確保促進事業」を受託し、その一環として「観光人材確保・定着支援イベント ～人材戦略×イノベーション～」を開催いたします。

本イベントでは、人材戦略に関する講演やトークセッション、育人（はぐんちゅ）講師陣による無料お試し研修に参加することができ、コロナ禍で人材確保・育成についてお悩みをお持ちの観光事業者の皆様にとって、課題解決の参考となるイベントとなります。

【イベント概要】

日時：令和5年2月10日（金）13：30～16：00（※開場・受付 13：00～13：30）

会場：ノホテル沖縄那覇 2F ラーボ（沖縄県那覇市松川40番地）

対象：沖縄県内の観光事業者・経営者：50名程度

申込方法：チラシ掲載のURLもしくはQRコードより、お申込みいただけます。

申込締切：令和5年2月8日（水）まで

【イベント内容】

- ① 講演（30分）／ テーマ：「独自性オンリーワン経営×イノベーション」
ホテルパームロイヤルNAHA 国際通り 代表取締役総支配人 高倉直久 氏
- ② トークセッション（30分）／ テーマ：「人材戦略×イノベーション」
高倉直久 氏・育人講師2名（秋元智道 氏・白水淳 氏）
- ③ 育人講師陣による無料お試し研修（各30分）
※無料お試し研修は以下4つのいずれか1つを受講することが可能
・萩原知子 氏「部下育成」 ・小那覇りな 氏「接遇・マナー」
・秋元智道 氏「マーケティング戦略」 ・白水淳 氏「離職率低下・定着率向上」
- ④ 雇用、人材確保・育成、経営に関する相談ブース（補助金や助成金など）
・沖縄助成金センター
・（公財）沖縄産業振興公社
・（一社）沖縄中小企業診断士協会
・（一財）沖縄ITイノベーション戦略センター（ISCO）
・（一社）アジア交流促進協会
・（一社）外国人招へい協会 等

■お申込みフォーム・QRコード

<https://forms.gle/RqeMGwj1PrtYrS5f9>



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課 担当：天久、大城
[TEL:098-859-6129](tel:098-859-6129) FAX：098-859-6222
Mail：ikusei@ocvb.or.jp

育^{はぐんちゅ}人 観光人材 確保・定着

支援イベント

補助金・助成金
についても
ご相談できます!

人材戦略 × イノベーション

日時 令和5年2月10日(金) 13:30~16:00

会場 ノホテル沖縄那覇宴会場 L'ARBE (ラーボ)



イベント内容

01 基調講演 13:40~14:10

トークテーマ 「独自性オンリーワン経営 × マーケティング戦略」



高倉直久氏 ホテルパームロイヤルNAHA国際通り代表取締役 総支配人

大学卒業後、福岡県芥屋ゴルフ倶楽部へサービス研修のため2年間研修。沖縄県内ゴルフ施設を退職し、ホテル事業の新規立ち上げを行う。2005年『ホテルパームロイヤルNAHA国際通り』支配人に就任。2007年11月、代表取締役総支配人に就任。2014年、南部最大のメガソーラー施設の企画立案事業に従事。LGBT支援団体である(一社)ピンクドット沖縄の代表理事をはじめ、(一社)宿泊施設関連協会沖縄支部副支部長や、沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合など、各観光関連10団体の副会長や理事を兼務。また、株式会社パームロイヤルは、沖縄県より人材育成に優れた企業として認証を受けている。

02 トークセッション 14:10~14:40 | 質疑応答 14:40~14:55

トークテーマ 「人材戦略 × イノベーション」

パネリスト

ホテルパームロイヤルNAHA国際通り 代表取締役総支配人 高倉直久氏

ビットノット(株)代表取締役 秋元智道氏

コーチングオフィス沖縄代表 白水淳氏

03 育人お試し研修 15:00~15:30



(株)実践教育ラボ 代表取締役社長 萩原知子氏

部下育成

「部下がみるみる育つ理想の組織」を軸にリーダー研修講師・コンサルタントとして5年間で250回の登壇実績あり。国内ダントツNO.1のインストラクター養成企業として世界でも認められる。介護施設や学校法人での人材育成のほか、観光業の人材強化も得意とする。



オフィス・キャリアール代表 小那覇りな氏

接遇・マナー

専門学校講師の経験を活かし、「現場で実践でき接客・接遇」をモットーに、企業から、団体、官公庁、学生まで、幅広いジャンルの研修を行なっている。その他にも、マインドフルネス瞑想やストレスマネジメント等、メンタル力向上の研修も多く実施している。



ビットノット(株)代表取締役 秋元智道氏

マーケティング戦略

国内企業100社以上のWEBマーケティングを支援。2015年、ビットノット(株)を設立。マーケティング戦略に基づくHP制作とWEBプロモーションを実施している。観光事業者の課題解決のため、IT、WEB、DXという手段を用いたコンサルティングに携わる。



コーチングオフィス沖縄代表 白水淳氏

定着率向上

大手外食企業在籍時700名以上の社員の人材育成に関わり、複数店舗の売上、利益等のマネージメントを管理した。2004年、コーチングオフィス沖縄を設立。ビジネスパーソンを中心にコーチング研修等を実施する。研修実績は、県内外(観光業、金融、建設、メーカー、外食、自治体など)多数。

雇用、人材確保・育成、経営に関する相談ブース（補助金、助成金含む）

●（公財）沖縄県産業振興公社

創業者や中小企業者等が抱える経営上の課題や取組みに対し、経営相談窓口を開設しています。お気軽にご相談ください。

●（一社）沖縄県中小企業診断士協会

正社員雇用や正社員転換による助成金や、経営に関する課題解決のための無料専門家派遣の実績があります。無料の経営セミナーの開催を企画しています。

●（一社）アジア交流促進協会

外国人材の確保とマッチングに関して、情報提供を行います。ご質問等があればぜひご相談ください。

●（一社）外国人招へい協会

コロナ以前では沖縄県内で年間約70名の受入実績がございます。今後は観光業を中心に、技能実習・特定技能といった人材をご紹介します。

● 沖縄助成金センター

職務に関連する専門的な知識や技能習得を目的とした職業訓練を実施した場合に、訓練経費や賃金の一部等を助成する「人材開発支援助成金」をご案内します。

●（一財）沖縄ITイノベーション戦略センター（ISCO）

令和5年度に予定されている沖縄県の補助金やDXをスタートする為の各種ご相談、IT事業者の紹介等、ITに関する困りごとを解決します。

助成金の
「何？なぜ？」
の解決をサポート



お申し込み方法

右のQR、もしくは下記URLからお申し込みください。

お申し込み用URL <https://forms.gle/RqeMGwj1PrtYrS5f9>

お申し込みフォーム



お申し込み締切り **2月8日(水)** まで

お申し込みについて
お問い合わせ先

株式会社アカネクリエーション
沖縄MICEサービス（担当：山下）

TEL：098 - 862 - 8280



研修を実施したい沖縄県内の観光関連企業・団体と、様々な研修を提供することができる講師陣をつなぐ **研修マッチングサイト**です。

沖縄の観光人材確保・育成なら「育人」へおまかせください！

サイトはコチラ



お問い合わせ先

〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831番地1 沖縄産業支援センター2階
（一財）沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 受入推進課（担当：大城、天久）
TEL：098-859-6129 / E-mail：ikusei@ocvb.or.jp